

武蔵野市立第一中学校及び第五中学校改築

基本設計・実施設計等業務委託に関する

公募型プロポーザル 審査講評

令和3年5月

武蔵野市立第一中学校及び第五中学校改築に係る設計事業者選定委員会

はじめに

武蔵野市立第一中学校（以下、「第一中」とする。）及び第五中学校（以下、「第五中」とする。）改築（以下、「本事業」とする。）事業は、これから武蔵野市で始まる24年間にも及ぶ16校の改築事業の最初の改築事業であり、その設計には、「武蔵野市学校施設整備基本計画」や「武蔵野市立第一中学校改築基本計画」及び「武蔵野市立第五中学校改築基本計画」を踏まえ、生徒の学びの場として快適な空間を形成するだけでなく、周辺住民をはじめとした市民にとっても親しみの持てる施設として、景観への配慮などを行うほか、環境問題への取り組みや長期にわたる建物の修繕の工夫や将来の転用を見据えた構造計画などが求められ、設計者の選定は極めて重要である。

これらのことを踏まえ、武蔵野市は今後の改築事業のモデルをつくることのできる設計能力を持ち、また本事業にふさわしい設計者を選定するために、公募型プロポーザルを実施することとし、プロポーザルの審査は、教育や建築、都市に関する専門知識をもつ学識経験者、改築校の校長、行政関係者からなる8名の委員で構成する「武蔵野市立第一中学校及び第五中学校改築に係る設計事業者選定委員会」（以下、「選定委員会」という。）により行うこととした。これを受け、選定委員会では、各委員がそれぞれの専門分野での経験や知識を出し合い、厳正かつ慎重な議論を重ねた上で、本事業にふさわしい設計者を公正かつ適切に選定することに尽力した。令和3年3月29日に実施した選定委員会における審議及び審査を終えて優先交渉権者を選定したので、ここに審査講評を取りまとめる。

武蔵野市立第一中学校及び第五中学校改築に係る設計事業者選定委員会

委員長	松田 恵示	(東京学芸大学 理事・副学長)
副委員長	松岡 拓公雄	(亜細亜大学 都市創造学部部長 都市創造学科教授)
委員	倉斗 綾子	(千葉工業大学 創造工学部 デザイン科学科准教授)
委員	中嶋 建一郎	(武蔵野市立第一中学校 校長)
委員	刀根 武史	(武蔵野市立第五中学校 校長)
委員	早川 千秋	(武蔵野市都市整備部 部長)
委員	福島 文昭	(武蔵野市教育部 部長)
委員	西館 知宏	(武蔵野市教育部教育企画課 学校施設担当課長)

1. 1次審査

1次審査は、応募者の実績、管理技術者・主任担当技術者の略歴・実績、チーム体制、スケジュール、業務取組方針について書面審査を行い、上位7者を選定した。

< 1次審査配点 >

番号	評価項目	判断基準	配点
①	応募者の実績	・学校建築の実績は評価できるか。	15
②	管理技術者・主任担当技術者の略歴・実績	・管理技術者、主任担当技術者の略歴は評価できるか。 ・管理技術者、主任担当技術者の学校建築実績は評価できるか。	15
③	本業務のチーム体制	・2校のチーム構成は適切であるか。 ・適正に有資格者が配置されているか。 ・チームのバックアップ体制が適切に組まれているか。	30
④	スケジュール	・適切なスケジュールが組まれているか。 ・スケジュール管理能力が評価できるか。	10
⑤	業務取組方針	・設計コンセプトへの理解力、表現力、意欲があるか。	30
合計			100

< 1次審査結果 >

順位	会社名	得点	備考
1位	A社	93.5	1次審査通過
2位	B社	91.4	1次審査通過
3位	C社	89.0	1次審査通過
4位	D社	85.1	1次審査通過
5位	E社	79.0	1次審査通過
6位	F社	77.0	1次審査通過
7位	G社	74.0	1次審査通過
8位	H社	70.4	
9位	I社	69.3	
10位	J社	67.5	
11位	K社	66.3	
12位	L社	63.8	
13位	M社	61.1	

2. 2次審査

2次審査では、1次審査を通過した7者による提案書に基づくプレゼンテーション・ヒアリングを行い、設計の方針・考え方、業務遂行能力を選定委員会が審査し、事務局が算定した価格点を加算して、合計点の高い上位2者を合計点の高い順に、「第1優先交渉権者」、「第2優先交渉権者」として選定した。

開催日時 令和3年3月29日（月）午前8時40分から午後8時まで

開催場所 武蔵野市役所 西棟8階 812会議室

< 2次審査配点 >

番号	評価項目	判断基準	配点		
			共通	一中	五中
①	設計の方針・考え方		330		
	1 各校の設計コンセプト、デザイン具体化の方策	市の考え方を理解しているか。コンセプトやデザイン具体化の方策について、優れた計画力、発想力、表現力を有しているか。	—	80	80
	2 学校機能と空間の考え方	学校機能、空間の考え方、計画力、発想力が優れているか。	70	—	—
	3 環境計画・省エネ、長期修繕計画	環境負荷やコストの低減、長期修繕計画への知識や計画力、発想力が優れているか。	50	—	—
	4 スケルトンインフィルの考え方	構造計画に関する知識や計画力、発想力が優れているか。	50	—	—
②	業務遂行能力		70		
	1 実績	優れた実績があり、本業務への展開が期待できるか。	40	—	—
	2 プレゼン力	説明や意見調整の能力を有しているか。	30		
価格点			100		
合計			500		

< 2次審査結果 >

順位	会社名	技術点	価格点	合計得点	備考
1位	D社	311.3	97.0	408.3	第1優先交渉権者
2位	B社	305.6	100.0	405.6	第2優先交渉権者
3位	E社	268.8	98.3	367.1	
3位	C社	267.5	99.6	367.1	
5位	A社	269.7	86.3	356.0	
6位	G社	234.1	96.5	330.6	
7位	F社	208.1	97.0	305.1	

上記の結果から、第1優先交渉権者、第2優先交渉権者を次のとおり、選定した。

< 第1受注候補者 > D社

選定理由：各選定委員が採点した採点結果で最も合計点が高い提案者であったため。

< 第2受注候補者 > B社

選定理由：各選定委員が採点した採点結果で第1受注候補者に次いで、2番目に合計点が高い提案者であったため。

3 第1優先交渉権者（D社）に対する寸評

全体的にバランスのよい提案であった。各学校の立地特性を踏まえ、デザインが具体化されており、その過程において建築の意匠、構造、設備が一体的に検討され、環境への配慮を意識している点が高く評価された。また、学校教育への理解も深く、優れた設計能力を有すると評価した。武蔵野市における学校改築のモデルをつくることが意識されたコンセプトへの評価も高く、プレゼンテーション・ヒアリングの対応も的確であり、最も高い審査結果となった。

4 第2受注候補者（B社）に対する寸評

各学校の立地特性を踏まえた屋外空間の考え方や生徒がどう建築物を使うかを意識した建築設計の考え方が高く評価された。設備や構造の考え方も優れ、プレゼンテーション・ヒアリングの対応も的確であり、二番目に高い評価となった。

5 総評

選定委員会では、実施要項に基づき、応募者から提出された書類の審査、プレゼンテーション・ヒアリングによる審査を行った。

1次審査は、応募者の実績、チーム体制、取組方針における提案力、スケジュールについて書面審査を行った。どの応募者においても、本業務を遂行できる能力を有すると判断できたが、総合的に評価した結果、上位7者を選定した。

2次審査には、1次審査通過者7者からの技術提案書及びプレゼンテーション・ヒアリングにより、設計の方針・考え方、業務遂行能力について、審査を行い、第1・第2優先交渉権者を選定した。上位2者においては寸評に記載のとおり、バランスのよい提案であり甲乙つけがたく、各委員の専門分野の知見を生かし、いくつもの観点から厳しく意見を交わしつつ、最終的には総合的に判断し、第1優先交渉権者を決定した次第である。また他の応募者についても、学校建築の経験、専門技術から本事業への様々な提案がなされ、評価に値するものであった。このような中で、第1優先交渉権者を決める審査は極めて難しい判断であった。

最後に、本プロポーザルには、13事業者の実力ある事業者からの応募があり、熟慮された提案をいただき、すべての応募者に感謝の意を表したい。審査委員会では、各委員の専門分野や知見を活かし、多様な視点から審議を行うことで、武蔵野市の今後の学校改築の礎にもなる本事業に最もふさわしい事業者を選定することができた。今後、優先交渉権者が惜しみなくその実力を発揮し、プロポーザルの場での各委員からの質疑や指摘事項等も踏まえ、武蔵野市とともに、より良い第一中学校・第五中学校の設計を進めることを期待する。

武蔵野市立第一中学校及び第五中学校改築に係る設計事業者選定委員会
委員長 松田 恵示